

第188回教育研究評議会<議事要録>

日時 令和3年2月8日(月) 14:00 ~ 16:10
場所 <TV会議により実施>
本部棟3階 特別会議室, 本部棟5階 大会議室, 医学部 第1会議室
出席者 服部学長, 藤田理事, 秋重理事, 荒瀬理事, 井川理事, 長澤理事, 肥後副学長,
出口副学長, 武田副学長, 金山副学長, 丸橋法文学部長, 加藤教育学部長,
村瀬人間科学部長, 鬼形医学部長, 廣光総合理工学部長,
井藤生物資源科学部長, 田中評議員, 河添評議員, 石原評議員, 川向評議員,
河野評議員, 廣瀬評議員, 境評議員, 村川評議員, 杉江評議員, 松崎評議員
オブザーバー 千家監事
欠席者 山崎評議員, 小俣評議員
〔陪席: 附属義務教育学校長, 企画部長, 教育・学生支援部長, 総務部長, 財務
部長, 教育学部・人間科学部事務長, 医学部事務部長, 自然科学系事務
部長, 企画広報課長, 総務課長〕

議題1 令和2年度教育の質保証評価書について

- 荒瀬理事から令和2年度教育の質保証評価書について説明があった。
- 学長から令和2年度の教育活動において特徴的な取り組みについて質問があり, 荒瀬理事から学修成果の可視化を目的とした学修ポートフォリオの導入が挙げられるとの回答があった。
- 学長から全学的な取り組みについては記載しないのか質問があり, 荒瀬理事から現時点では学部・研究科の取り組みを集約したものであり, 今後3月の公表に向けて整理する過程で全学的な取り組みについても記載するとの回答があった。
- 千家監事から例年の質保証評価書との変更点について質問があり, 荒瀬理事からこれまで全学的に取りまとめて記載していた項目を学部ごとの記載に変更するなど, 今回から認証評価制度にも対応できる形式で作成したとの回答があった。
- 以上の議論を踏まえて, 最終的な質保証評価書は3月の教育研究評議会で審議することとし, 作成方針については原案どおり議決された。

議題2 令和3年度学年暦(出雲キャンパス)について

- 荒瀬理事から令和3年度学年暦(出雲キャンパス)について説明があり, 原案どおり議決された。

議題3 学部学生の研究倫理教育について

- 秋重理事から学部学生の研究倫理教育について説明があり, 原案どおり議決された。

議題4 病原体等安全管理規則及び病原体等安全管理委員会規程の制定について

- 秋重理事から病原体等安全管理規則及び病原体等安全管理委員会規程の制定について説明があり, 原案どおり議決された。

議題5 共同研究取扱規程の一部改正について

- 秋重理事から共同研究取扱規程の一部改正について説明があった。
- 松崎評議員から研究コストの内訳で管理経費に計上されている物件費の定義について確認があった。
- 学長から本件については全ての教員に周知徹底してほしいとの意見があり, 原案どおり議決された。

協議事項1 島根大学ビジョン、目標及び戦略（案）について

- 学長から島根大学ビジョン、目標及び戦略（案）について説明があった。
- 県内就職率の目標達成に向けて県内入学比率を指標とすることについて意見が募られ、評議員から以下のとおり発言があった。
 - ・松崎評議員から地域未来協創本部では県内入学比率を高めることが重要であると認識しており、しまね大交流会をはじめ学内の研究室に県内高校生を招くなど、大小様々な規模で県内高校生に何を学びたいか考える機会と島根大学でそれが学べるという期待感の両方を提供するための取り組みを行うことが必要であるとの意見があった。
 - ・杉江評議員から大学教育センターでは県内就職率の目標達成のためには地域密着型の授業や短期・長期インターンシップがどれだけ実施できるかが重要であると考えており、これを達成するためには本学の教育の仕組みを抜本的に見直すなど大きな改革が必要ではないかとの意見があった。
 - ・丸橋法文学部長から、例えば今年度島根大学では新型コロナウイルスの影響を受けた県内出身の他大学学生に対して図書館サービスを一部開放するなどの対応を行ったが、このような学生への対応がコロナ禍で島根大学の存在感を高める1つの要素となり、県内外の高校生が島根大学や島根県に興味を持つきっかけとなるのではないかと意見があった。
 - ・加藤教育学部長から、教育学部の事情として教員という職種に対するイメージの変化により全国的に志望者が減少傾向であることや企業就職を選択する学生が増加していることが課題となっているが、島根大学教育学部は山陰両県に跨る教員養成学部であるため鳥取県出身の入学者についても考慮する必要がある、山陰両県の教育委員会と連携し山陰の高校生へ働きかけていくとの意見があった。
 - ・村瀬人間科学部長から人間科学部の事情として県内高校生に学部の存在は認知されてきているものの、何が学べるのかといった中身の部分まで広く認知されているとは言えないことから、県内高校生に対してより深い関係を持てるよう働きかけていきたいとの意見があった。
 - ・廣光総合理工学部長から県外出身の学生を県内就職させることと県内出身の学生を増やすことは両輪で進めていく必要がある、特に県内出身の学生を増やすことに関しては、県内の優秀な高校生に本学を第一志望としてもらえるように島根大学の特色ある教育・研究の魅力を伝える地道な活動を継続する必要があるとの意見があった。
 - ・井藤生物資源科学部長から県内の高校生に島根大学がどのような教育・研究をしているかを知ってもらうことが重要だと認識しており、これまでも大学教員と実験を行う機会の提供など高校生に密着した活動を行ってきたところであるが、これらの活動により島根大学と接点が生まれた学生が必ずしも島根大学を選択しているわけではないため、へるん入試の活用など本学との接点を生かせるような働きかけを行っていきたいとの意見があった。
 - ・鬼形医学部長から医学部の事情として地域枠等により卒業生の半数近くが県内に残ることとなるが、近年松江市の進学校の高校生が県外の大学を志望する傾向になりつつある点を懸念しているとの意見があった。
- 肥後副学長から県内就職率を高めるために島根大学が取り組まなければならない課題として次の意見があった。
 - ・学力試験を課す意図をより明確にすること。
 - ・島根県での定住や起業を見据えて島根大学でしか得られない学びを求め進学してくる学生を増やすための設計に全学を挙げて取り組むこと。
 - ・地域や県内企業と連携した授業展開やインターンシップをより推進していくこと。

- 学長からその他意見があれば2月12日（金）までに企画広報課へ連絡するよう依頼があった。

協議事項2 教学マネジメント室の設置について

- 荒瀬理事から教学マネジメント室の設置について説明があった。
- 松崎評議員から教学マネジメント室を中心にPDCAサイクルを確立するためにデータ収集・分析が密に行われるような設計にして欲しいとの意見があった。

報告事項1 令和3年度入試の志願状況について

報告事項2 令和3年度個別学力試験の実施について

- 報告事項1, 2は書面により報告された。

報告事項3 第8期学術情報基盤整備計画に係る検討状況について

- 川向評議員から第8期学術情報基盤整備計画に係る検討状況について報告があった。

報告事項4 令和3年度予算（案）の概要について

- 長澤理事から令和3年度予算（案）の概要について報告があった。

報告事項5 コンプライアンス・プログラム（e-ラーニング）（R3.1.1～R3.1.31）の実施状況について

- 報告事項5は書面により報告された。

報告事項6 職務権限規程の制定について

- 学長から職務権限規程の制定について報告があった。

報告事項7 執行体制に係る規則の制定等について

- 学長から執行体制に係る規則の制定等について報告があった。

報告事項8 法定会議に係る規則の一部改正について

- 学長から法定会議に係る規則の一部改正について報告があった。

報告事項9 国際交流協定の締結について

報告事項10 教員の採用等について

- 報告事項9, 10は書面により報告された。